

# 体内の病気をやさしく治すIVR（アイ・ブイ・アール）をご存じですか？

IVR（アイ・ブイ・アール）は、今注目されている「患者様にやさしい最先端の治療法」の一つです。

IVRはInterventional Radiology（インターベンショナル ラジオロジー）の略語です。私たちの体内には、全部をつなぐと10万km（地球を2周半）の長さになる血管が張り巡らされています。また、胆管や尿管、消化管などの大切な管もあります。IVR はこれらの管にカテーテル（細い管）を挿入し、さまざまな治療を行います。IVRはX線（レントゲン）透視画像、血管造影画像、US（超音波）画像またはCT画像を見ながら、カテーテルや針を用いて、できるかぎり体に傷を残さずに病気を治療する画期的な方法です。つまった血管や胆管を拡げたり、出血した血管をつめて止血したり、がんを死滅させたり、さまざまな治療を行います。手術を必要としないため、体への負担が少なく、病気の場所だけを正確に治療することができます。日本IVR学会では、IVRを「画像下治療」と呼ぶことを提唱しています。

IVRを安全に実施するためには、高度な技術が要求されます。

現在、IVRは放射線科医が中心になって行っています。放射線科医は画像をもとに診断し治療する仕事をしています。放射線科医が長年培ってきた能力・技術が、この新しい治療法に生かされています。日本IVR学会では、このすぐれた治療法が、より安全に、より多くの医療機関で実施されることをめざして、会員の教育、技術研鑽につとめ、この治療法の専門医である「IVR専門医」の育成と認定を行っています。IVRには保険認可されていない治療もありますので、必ず専門の医師に相談して下さい。

日本IVR学会 広報・渉外委員会

日本IVR学会 事務局

〒355-0063 埼玉県東松山市元宿1-18-4

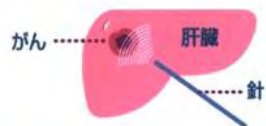
<http://www.jsir.or.jp/>

# IVR

インターベンショナル・ラジオロジー  
Interventional Radiology

# IVR (アイ・ヴィ・アール) という 患者さんに優しい治療法があります!

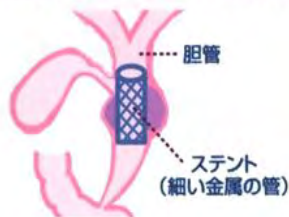
体の外から細い針を刺し、特殊な電波などを照射してがんを焼く。



がんを養っている血管に抗がん剤を注入、または血管をつめてがんを死滅させる。



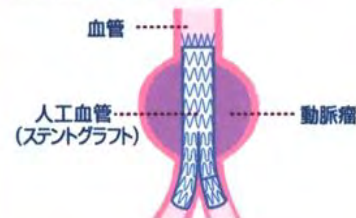
つまった胆管をステントなどで拡げる。



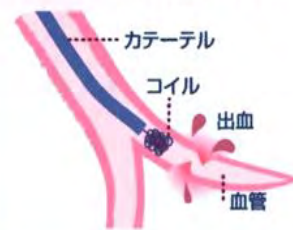
骨粗鬆症でもろくなった骨の内部に、セメントなどを注入して丈夫にする。



こぶ  
瘤をつかって今にも破裂しそうな血管に、人工血管(ステントグラフト)を留置して大出血を防ぐ。



交通事故などで破れて出血した血管を、コイルなどの塞栓物質でつめて止血する。



つまった血管をバルーンやステントで拡げて再開通する。

